

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

市場価額のあるものは、時価法を採用している。

満期保有目的の債券は償却原価法(定額法)によっている。

ただし、前期以前の満期保有目的の債券は取得原価を採用している。

その他のものは原価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品・・・定率法を採用している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	367,609,916	53,500,000		421,109,916
定期預金	200,000,000			200,000,000
普通預金	5,400,084			5,400,084
小 計	573,010,000	53,500,000	0	626,510,000
特定資産				
事業積立資産	56,600,000	0	4,000,000	52,600,000
小 計	56,600,000	0	4,000,000	52,600,000
合 計	629,610,000	53,500,000	4,000,000	679,110,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対する額)
基本財産				
投資有価証券	421,109,916	(421,109,916)	(0)	(-)
定期預金	200,000,000	(200,000,000)	(0)	(-)
普通預金	5,400,084	(5,400,084)	(0)	(-)
小 計	626,510,000	(626,510,000)	(0)	(-)
特定資産				
事業積立資産	52,600,000	(0)	(52,600,000)	(-)
小 計	52,600,000	(0)	(52,600,000)	(-)
合 計	679,110,000	(626,510,000)	(52,600,000)	(-)

4. 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
有価証券			
第18回ゼネラル・エレクトリック・ キャピタルコーポレーション	100,000,000	100,320,000	320,000
第17回シティグループ・インク円 貸社債(2005)	94,969,506	103,740,000	8,770,494
第23回シティグループ・インク円 貸社債(2007)	100,130,410	105,690,000	5,559,590
合 計	295,099,916	309,750,000	14,650,084